# 面的評価支援システム

操作マニュアル(別冊)

## オブジェクト修正編

Ver 5.2.2対応

令和6年3月

<> 環境省 水・大気環境局 モビリティ環境対策課

「面的評価支援システム操作マニュアル(別冊)オブジェクト修正編」は、「面的評価支援システム」(以下シ ステムという)で作成した評価区間を、低騒音舗装等の騒音対策の設置等により評価区間の見直し、再評価する 場合についてのオブジェクトの修正手順や再評価について記述したマニュアルです。





## 目 次

1 概要	Ι	区間延長	5
2       オブジェクトの結合・情報修正       2         2-1       概要       2         2-2       手順       2         2-2-1       評価区間結合       2         2-2-2       道路に面する地域結合       2         2-2-3       距離帯結合       2         2-2-4       近接空間結合       1         2-2-5       街区結合       1         1       概       要       1         2-2-5       街区結合       1         1       概       要       1         2       オブジェクトの分割・情報修正       1       1         1       概       要       1         2-1       概       =       1         2-2-5       順       1       1         2-2-1       評価区間の細分化       1       1         2-2-2       道路に面する地域細分化       1       1         2-2-3       距離帯細分化       1       1       1         2-2-3       距離帯細分化       1       1       1         2-2-5       街区細分化       1       1       1         2-2-5       街区細分化       1       1       1         2-2-5       街区細分化       1       1       1         2-2-5 <th>1</th> <th>1 概  要</th> <th>6</th>	1	1 概  要	6
$2-1$ 概要. $2-2 \neq $ 順 $2-2-1$ 評価区間結合. $2-2-1$ 評価区間結合. $2-2-2$ 道路に面する地域結合. $2-2-3$ 距離带結合. $2-2-4$ 近接空間結合. $10$ $2-2-5$ 街区結合. $10$ $1$ 概 要. $11$ $1$ 概 要. $12$ $2-1$ 概 要. $12$ $2-2-5$ 街区結合. $11$ $1$ 概 要. $12$ $2-2-5$ 街区回の細分化. $12$ $2-2-1$ 評価区間の細分化. $12$ $2-2-2$ 道路に面する地域細分化. $12$ $2-2-2$ 道路に面する地域細分化. $12$ $2-2-2$ 道路に面する地域細分化. $12$ $2-2-3$ 距離帯細分化. $12$ $2-2-3$ 距離帯細分化. $12$ $2-2-4$ 近接空間細分化. $12$ $2-2-5$ 街区細分化. $12$	2	2 オブジェクトの結合・情報修正	7
2-2 手順       第個区間結合 $2-2-1$ 詳価区間結合       第 $2-2-2$ 道路に面する地域結合       第 $2-2-3$ 距離带結合       10 $2-2-4$ 近接空間結合       10 $2-2-5$ 街区結合       10         1       概 要       11         1       概 要       12 $2-1$ 概 要       12 $2-2-1$ 詳価区間の細分化       12 $2-2 = 5$ 街区部合の細分化       12 $2-2-1$ 評価区間の細分化       12 $2-2-2$ 道路に面する地域細分化       12 $2-2-3$ 距離帯細分化       14 $2-2-3$ 距離帯細分化       14 $2-2-5$ 街区細分化       15         1       概 要       24         2       車等価の理手順       24		2-1 概 要	7
2-2-1       評価区間結合		2-2 手 順	8
2-2-2       道路に面する地域結合		2-2-1 評価区間結合	8
2-2-3       距離带結合		2-2-2 道路に面する地域結合	8
2-2-4       近接空間結合		2-2-3 距離帯結合	9
2-2-5 街区結合		2-2-4 近接空間結合	
I 細分化		2-2-5 街区結合	
1 概 要	Π	細分化	
2 オブジェクトの分割・情報修正       15         2-1 概要       15         2-2 手 順       16         2-2-1 評価区間の細分化       16         2-2-2 道路に面する地域細分化       16         2-2-3 距離帯細分化       16         2-2-4 近接空間細分化       16         2-2-5 街区細分化       17         11       再評価       19         2       車評価処理手順       20	1	1 概  要	
2-1 概要	2	2 オブジェクトの分割・情報修正	
2-2 手順		2-1 概 要	
2-2-1       評価区間の細分化		2-2 手 順	
2-2-2       道路に面する地域細分化       14         2-2-3       距離帯細分化       14         2-2-4       近接空間細分化       16         2-2-5       街区細分化       17         Ⅲ       再評価       16         1       概       要       20         2       再評価       20       20		2-2-1 評価区間の細分化	
2-2-3       距離帯細分化		2-2-2 道路に面する地域細分化	
2-2-4       近接空間細分化		2-2-3 距離帯細分化	
2-2-5 街区細分化		2-2-4 近接空間細分化	
Ⅲ 再評価19 1 概 要		2-2-5 街区細分化	
1 概 要	Ш	再評価	
2 再評価処理手順 2	1	1 概 要	20
	2	2 再評価処理手順	





#### 1 概 要

評価区間の区間延長手順は、延長する区間のオブジェクトを新規作成し、既存の区間とオブジェクトの結合を行うことをいいます。評価区間の延長に伴い、道路に面する地域・距離帯・近接空間・街区のオブジェクトの結合、 情報の修正が必要です。

延長する区間の新規作成の手順については操作マニュアル本編を参照してください。





#### 注意

多角形オブジェクトを結合する際、オブジェクト同士が離れてい ると結合できないため、新規作成する区間は既存区間の各区切り 線を利用し作成します。

#### 注意

## 2 オブジェクトの結合・情報修正

#### 2-1 概 要

評価区間の区間延長をするにあたりオブジェクトの結合の有無と、情報入力の有無を下表に説明します。

オブジェクト	結合	情報入力
評価区間	0	○※1
道路端	×	×
道路に面する地域	0	○※1
距離帯	0	0
近接空間	0	0
街区	0	$\bigcirc$ *2
建物	×	× <b>※</b> 3

○:有 ×:無

※1:一部情報の修正があります。

※2:道路に面する地域オブジェクトを結合する際に、街区情報は自動更新されます。

※3:街区オブジェクトを結合する際に、建物情報は自動更新されます。

#### 注意

#### 2-2 手 順

#### 2-2-1 評価区間結合

既存区間と新規作成オブジェクトを結合し、情報を確認・修正します。



#### 2-2-2 道路に面する地域結合

道路に面する地域オブジェクトを結合すると、結合されるオブジェクト(新規作成区間又は既存区間)と同じ評価区間番号を持つ街区及び建物の情報が自動更新されます。また、結合したオブジェクト内の距離帯オブジェクト 及び近接空間オブジェクトが削除されます。オブジェクト結合後に再作成を行ってください。





Menu [沿道設定] — [6. 道路に面する地域] — 「(1) オブジェクト作成」
① 延長結合ツールを選択します。
<ol> <li>2 結合する道路に面する地域オブジェクトを選択し ます。</li> </ol>
注意
先に選択したオブジェクトの情報を保持し、後に選択したオブジェクトの情報は破棄されます。
→ オブジェクトの結合処理画面が表示されます。

③ はいをクリックします。

→ オブジェクトが結合されます。

#### 2-2-3 距離帯結合

距離帯オブジェクトは1本ずつ結合します。結合後、情報入力をします。





<u>Menu</u> [沿道設定] — [7. 距離帯] — 「(1) オブ ジェクト作成」

- ① 結合ツールを選択します。
- ② 結合する距離帯オブジェクトを選択します。

注意

先に選択したオブジェクトの情報を保持し、後に選択したオブジ ェクトの情報は破棄されます。

- → オブジェクトの結合処理画面が表示されます。
- ③ はいをクリックします。
- → オブジェクトが結合されます。
- ④ ①~③を繰り返し、該当するすべての距離帯オブ ジェクトを結合します。

備考			
情報入力の距	離帯の色分け(	m)	
0~10 : 赤	10~20 : 橙	20~30 : 黄	
30~40:緑	40~50 : 青		

#### 2-2-4 近接空間結合

近接空間オブジェクトを結合後、情報入力します。



 オブラェクトの総合処理
 区

 道振したオブジェクト同士を結合しますか?
 3

Menu [沿道設定] — [8. 近接空間] — 「(1) オ ブジェクト作成」

- ① 結合ツールを選択します。
- ② 結合する近接空間オブジェクトを選択します。



→ オブジェクトが結合されます。

#### 2-2-5 街区結合

街区オブジェクトを結合すると、結合されるオブジェクト(新規作成区間又は既存区間)と同じ街区番号を持つ 建物の情報が自動更新されます。



Menu [沿道設定] — [9. 街区] — 「(1) オブジ ェクト作成」

- ① 延長結合ツールを選択します。
- ② 結合する街区オブジェクトを選択します。

<u>注</u>意

先に選択したオブジェクトの情報を保持し、後に選択したオブジェクトの情報は破棄されます。

- → オブジェクトの結合処理画面が表示されます。
- ③ はいをクリックします。 → オブジェクトが結合されま
  - オブジェクトが結合されます。

#### <u>備 考</u>

結合の結果、街区番号が連番にならない場合は、情報入力画面 で連番になるよう他の街区情報(番号)を修正します。

#### 注 意



#### 1 概 要

評価区間の細分化は、細分化ツールでオブジェクトを分割し、細分化されたそれぞれのオブジェクトに情報を付加します。

評価区間の細分化に伴い、道路に面する地域・距離帯・近接空間・街区のオブジェクトの分割、情報の修正が必要です。

#### ■作業フロー

オブジェクトの細分化・情報修正	
評価区間細分化	
道路に面する地域細分化	
距離帯分割	
近接空間分割	
街区細分化	
▼	4 
再評価	Ⅲ 再評価を参照してください。

## 2 オブジェクトの分割・情報修正

#### 2-1 概要

該当区間を細分化をするにあたりオブジェクトの分割の有無と、情報入力の有無を下表に説明します。

オブジェクト	分割	情報入力
評価区間	0	○※1
道路端	×	×
道路に面する地域	0	○※1
距離帯	0	0
近接空間	0	0
街区	0	○※1
建物	×	×

○:有 ×:無

#### ※1:一部情報の修正があります。

注意

#### 2-2 手 順

#### 2-2-1 評価区間の細分化

評価区間オブジェクトを細分化する前に、分割後の区間分割番号が同じになる評価区間がある場合は、区間分割 番号の情報を修正します。

評価区間オブジェクトを細分化し、情報を付加します。









- Menu [沿道設定] [4. 評価区間] 「(2) オ ブジェクト作成」
- ① 分割線作成ツールを選択します。
- ② 細分化する部分に分割線を作成します。

#### 備考

分割線の作成は、評価区間だけではなくその他のオブジェクト の細分化にも使用するので、長めに作成します。

- ③ 細分化ツールを選択します。
- ④ 細分化する評価区間オブジェクトを選択します。
- → オブジェクトの表示が変わります。
- ⑤ 分割線をクリックします。
- → オブジェクトの分割処理確認画面が表示されます。
- ⑥ はいをクリックします。
- → オブジェクトが分割されます。
- ⑦ Menu [沿道設定] -- [4. 評価区間]-- 「(2) 情報入力」で分割されたオブジェクトにそれぞれ 情報を再設定します。

#### 2-2-2 道路に面する地域細分化

道路に面する地域を細分化する前に、分割後の区間分割番号が同じになる道路に面する地域がある場合は、区間分割番号の情報を修正します。

道路に面する地域オブジェクトを細分化し、細分化された道路に面する地域オブジェクトに評価区間情報を関連 付けます。道路に面する地域オブジェクトを細分化すると、分割されるオブジェクトにある街区情報が自動更新さ れます。ただし、街区番号の変更はされません。



- Menu [沿道設定] [6. 道路に面する地域] 「(1) オブジェクト作成」
- ① 細分化ツールを選択します。
- ② 細分化する道路に面する地域オブジェクトを選択 します。
- → オブジェクトが枠のみの表示になります。
- ③ 分割線をクリックします。
- → オブジェクトの分割処理確認画面が表示されます。
- ④ はいをクリックします。
- → オブジェクトが分割されます。
- Menu [沿道設定] --[6. 道路に面する地域]
   --「(2) 情報入力」で分割されたオブジェクトに それぞれ情報を再設定します。

#### 2-2-3 距離帯細分化

距離帯オブジェクトは1本ずつ分割します。分割後、情報入力します。



Menu [沿道設定] — [7. 距離帯] — 「(1) オブ ジェクト作成」

- ① 分割ツールを選択します。
- ② 分割する距離帯オブジェクトを選択します。
- → オブジェクトが枠のみの表示になります。
- ③ 分割線をクリックします。
- → オブジェクトの分割処理確認画面が表示されます。
- ④ はいをクリックします。
- → オブジェクトが分割されます。
- ①~④を繰り返し、該当するすべての距離帯オブ ジェクトを分割します。
- ⑥ 距離帯オブジェクオトの上にカーソルを置き、右 クリックによるショートカットメニューの[情報 入力]を選択します。
- → 該当の評価区間オブジェクトが選択され中抜き表示になります。
- ⑦ 道路端に近いほうの距離帯オブジェクトから順に 選択します。
- → 距離帯オブジェクトが斜線塗りに表示されます。
- → 表示が戻り、情報が入力されます。

#### 備考

情報入力の距離帯の色分け(m)								
0~10 : 赤	10~20 : 橙	20~30:黄						
30~40 : 緑	40~50 : 青							

(7)

#### 2-2-4 近接空間細分化

近接空間オブジェクトを分割後、情報入力します。







the maximum data water w

Menu [沿道設定] — [8. 近接空間] — 「(1) オ ブジェクト作成」

- ① 分割ツールを選択します。
- ② 分割する近接空間オブジェクトを選択します。
- → オブジェクトが枠のみの表示になります。
- ③ 分割線をクリックします。
- → オブジェクトの分割処理確認画面が表示されます。
- ④ はいをクリックします。
- → オブジェクトが分割されます。
- ⑤ 近接空間オブジェクトの上にカーソルを置き、右 クリックによるショートカットメニューの[情報 入力]を選択します。
- → 該当の評価区間オブジェクトが選択され中抜き表示になります。
- ⑥ 該当する近接空間オブジェクトを選択します。
- → 近接空間オブジェクオトが中抜き表示されます。
- → 表示が戻り、情報が入力されます。

#### 2-2-5 街区細分化

街区オブジェクトを細分化する前に、分割後の街区番号が同じになる街区がある場合は、街区番号の情報を修正 します。

街区オブジェクトを細分化し、細分化した街区オブジェクトに情報を付加します。街区オブジェクトを細分化す ると、分割されるオブジェクトにある建物情報が自動更新されます。ただし、建物番号の変更はされません。





街区情報入力	×
市区町村コード	00000
評価区間番号	1062 - 1
上下コード	- 7
街区番号	2
地表面種類	P222211
※区間延長	0.2 km
※春字項目については"自	自動取得"ボタンにて自動取得が可能
自	物取得 登録 キャンセル

Menu [沿道設定] — [9. 街区] — 「(1) オブジェ クト作成」

- ① 細分化ツールを選択します。
- ② 細分化する街区オブジェクトを選択します。
- → オブジェクトの表示が変わります。
- ③ 分割線をクリックします。
- → オブジェクトの分割処理確認画面が表示されます。
- ④ はいをクリックします。
- → オブジェクトが細分化されます。
- Menu [沿道設定] -- [9. 街区] -- 「(2) 情報
   入力」で分割されたオブジェクトにそれぞれ情報
   を再設定します。

#### 注 意





#### 1 概 要

評価区間の区間延長、細分化を行った後の作業工程について説明します。

ー度評価処理をした後に評価区間の区間延長、細分化を行った場合は、再度データチェックから評価処理を行う 必要があります。処理範囲や評価機能により「都道府県」「市区町村」「評価区間」「街区」「建物」単位で評価処理 を行えます。

#### ■作業フロー



※1:街区オブジェクトを結合・分割した場合のみ※2:評価区間を細分化した場合のみ

備考

評価処理の詳細は本編を参照して下さい。

注意

## 2 再評価処理手順

				要素設定							馬	<b>経済推計</b>						
			沿道 設定	騒音	設定	騒音	<b>騒音推計前 騒音推計</b>											
				データチェック 騒音			音推 )実施	常時監視フォ ーマット作成		一括表示レイヤの作成								
			<b>立地密度</b>	<b>難音測定地点</b>	<b>難音測定データ</b>	驗音基準中位置	<b>験音レベル</b>	<b>孝</b> 示用レイヤ作成	オブジェクトデータ	データ項目	基本調査	詳細調査	教整理表集計	常時監視フォーマット作成	示 「 示 」 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	一括表示	騒音レベル等高線図	騒音レベル減衰横断図
	区間が	街区結合有	1			4	5	6	2	3	7	8	9	10	11	12	13	14
	延長	街区結合無				3	4	5	1	2	6	7	8	9	10	11)	12	13
Å	钾	街区分割有	1	2	3	6	7	8	4	5	9	10	11	12	13	14	15	16
分化	ガ化	街区分割無		1	2	5	6	$\bigcirc$	3	4	8	9	10	1	12	13	14	15

オブジェクトの修正内容により作業手順が異なります。下表に示す順序で修正内容ごとの処理を行ってください。